

埼玉青少年の意識と行動調査【速報版】

1 調査目的

この調査は、本県における青少年の生活実態、価値観、満足度などを年齢段階ごとに調査し、過去の調査結果との比較分析を行うことにより、現在の青少年の意識と行動の変化を把握するとともに、青少年行政の基本的かつ総合的な施策の樹立を図るための基礎資料を得るために実施した。

2 調査設計

(1) 調査地域 埼玉県全域

(2) 調査対象

① 県内に在住する平成23年4月1日現在で満10歳～14歳の男女

② 県内に在住する平成23年4月1日現在で満15歳～30歳の男女

③ 調査対象①の保護者

(3) 標本数 ①②③各1,200サンプル、計3,600サンプル

(4) 標本抽出方法 住民基本台帳を用いた層化二段無作為抽出法

(5) 調査方法 郵送配布－訪問回収法

(6) 調査期間 平成23年7月22日(金)～8月14日(日)

(7) 調査実施機関 株式会社エスピー研

3 回収結果

(1) 満10歳～14歳

標本数 1,200 有効回収数 954 (有効回収率 79.5%)

【有効回収数 931 (有効回収率 77.6%)】

(2) 満15歳～30歳

標本数 1,200 有効回収数 818 (有効回収率 68.2%)

【満15歳～24歳 有効回収数 761 (有効回収率 63.4%)】

(3) (1)の保護者 標本数 1,200 有効回収数 955 (有効回収率 79.6%)

【有効回収数 951 (有効回収率 79.3%)】

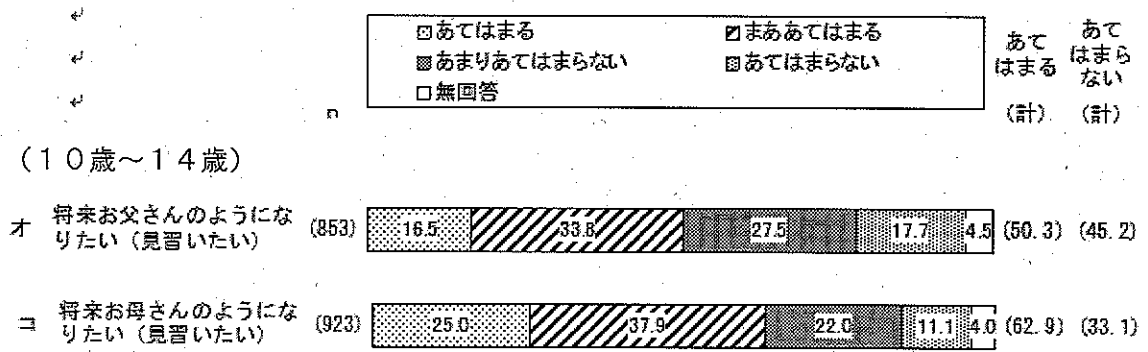
Q1 お父さんやお母さんによくなりたい(見習いたい)と思うか

◇10歳～14歳

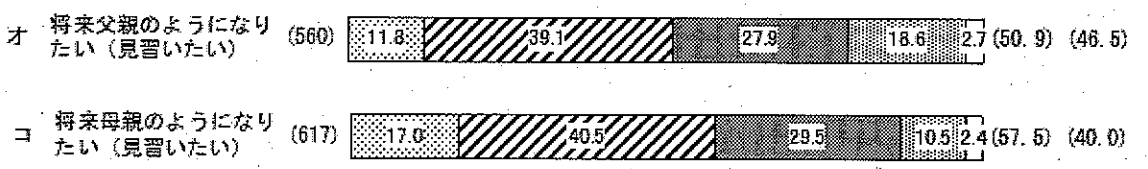
<将来お父さんのよくなりたい(見習いたい)> あてはまる(計) 50.3%
 <将来お母さんのよくなりたい(見習いたい)> あてはまる(計) 62.9%

◇15歳～30歳

<将来お父さんのよくなりたい(見習いたい)> あてはまる(計) 50.9%
 <将来お母さんのよくなりたい(見習いたい)> あてはまる(計) 57.5%



(15歳～30歳)



【傾向】

「将来お父さんのよくなりたい(見習いたい)」は、あてはまる(計)は「10歳～14歳」と「15歳～30歳」で大きな差は見られない。

「将来お母さんのよくなりたい(見習いたい)」は、あてはまるは、「10歳～14歳」が「15歳～30歳」を8ポイント上回っている。

全体的に「お母さんのよくなりたい(見習いたい)」が「お父さんのよくなりたい(見習いたい)」よりもポイントが上回っている。

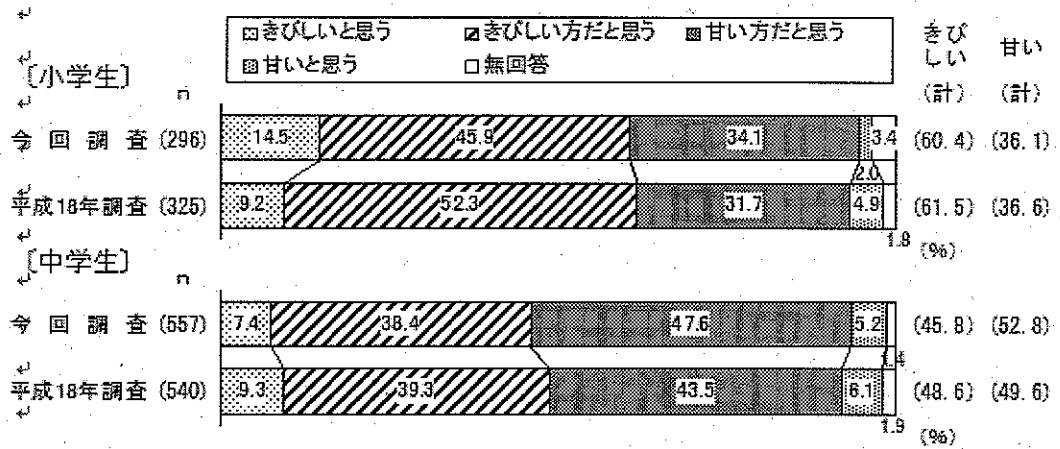
あてはまる(計)・・・「あてはまる」「まああてはまる」の合計
 あてはまらない(計)・・・「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の合計

Q2 お父さんやお母さんの「しつけ」の厳しさについて

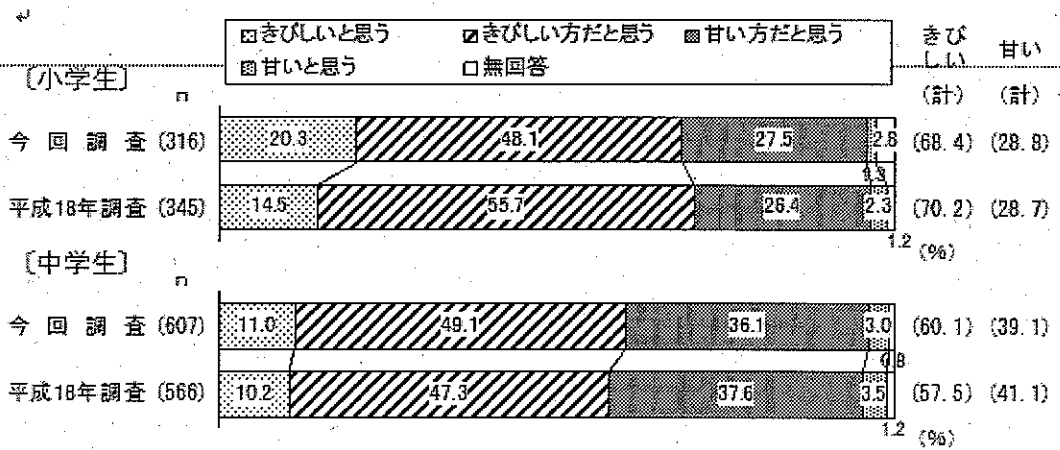
お父さんは「きびしい（計）」は小学生60.4%、中学生45.8%

お母さんは「きびしい（計）」は小学生68.4%、中学生60.1%

図表1-1-2 口しつけの厳しさに対する意識<お父さん> (年代別経年比較)



図表1-1-3 口しつけの厳しさに対する意識<お母さん> (年代別経年比較)



【傾向】

平成18年度と同様に、全体的にお父さんよりもお母さんの方がきびしいと回答する割合が多くなっている。

「きびしい（計）」「甘い（計）」の割合は平成18年度とほぼ同様である。

きびしい（計）・・・「きびしいと思う」「きびしい方だと思う」の合計
 甘い（計）・・・「甘い方だと思う」「甘いと思う」の合計

Q3 お父さんやお母さんは自分の気持ちを分かってくれるか

◇10歳～15歳

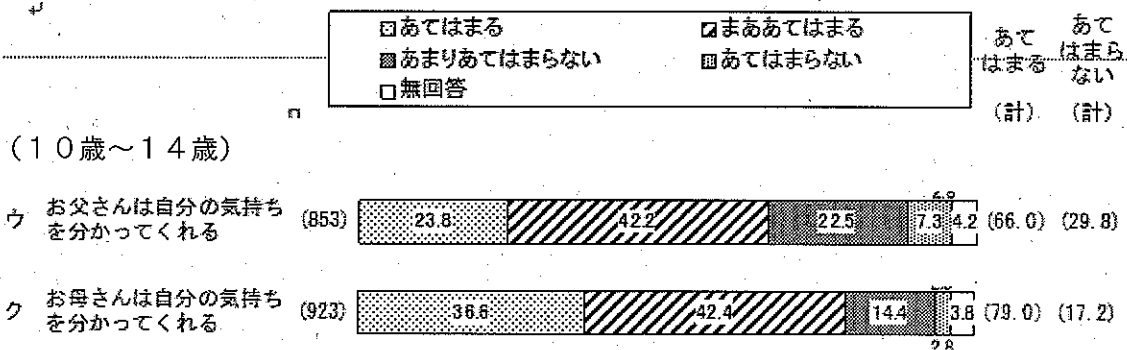
＜お父さんは自分の気持ちを分かってくれる＞ あてはまる（計）66.0%

＜お母さんは自分の気持ちを分かってくれる＞ あてはまる（計）79.0%

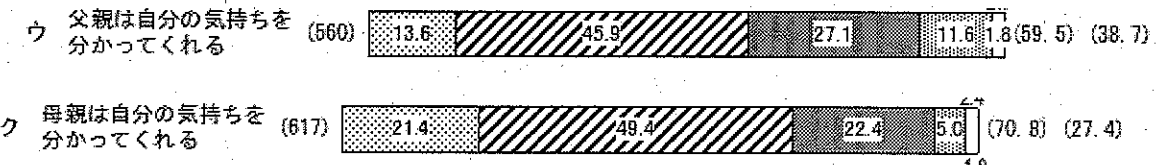
◇15歳～30歳

＜お父さんは自分の気持ちを分かってくれる＞ あてはまる（計）59.5%

＜お母さんは自分の気持ちを分かってくれる＞ あてはまる（計）70.8%



(15歳～30歳)



【傾向】

全体的に、お父さんよりもお母さんの方が「自分の気持ちを分かってくれる」と回答する割合が多くなっている。

また、「10歳～14歳」では「15歳～30歳」に比べて、「自分の気持ちを分かってくれる」と回答した割合が両親と6.5～8.2ポイント程度高くなっている。

あてはまる（計）・・・「あてはまる」「まああてはまる」の合計
 あてはまらない（計）・・・「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の合計

Q4 自分は両親を信頼しているか。両親から信頼されているか

◇10歳～14歳 (※【 】内は平成18年度)

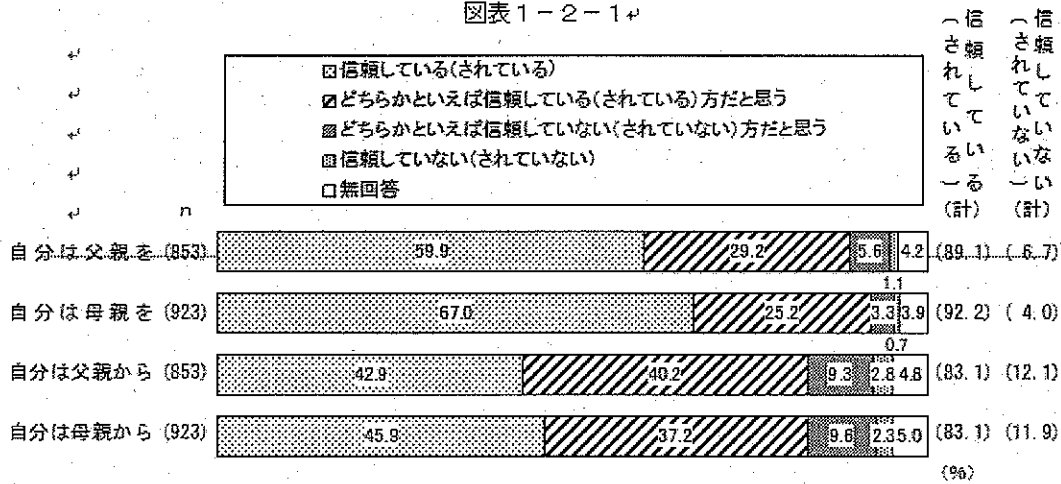
<自分は父親を信頼している>	あてはまる (計) 89.1% 【87.1%】
<自分は母親を信頼している>	あてはまる (計) 92.2% 【91.6%】
<自分は父親から信頼されている>	あてはまる (計) 83.1% 【81.3%】
<自分は母親から信頼されている>	あてはまる (計) 83.1% 【81.7%】

◇15歳～30歳

<自分は父親を信頼している>	あてはまる (計) 82.5% 【87.0%】
<自分は母親を信頼している>	あてはまる (計) 89.8% 【93.9%】
<自分は父親から信頼されている>	あてはまる (計) 77.5% 【82.5%】
<自分は母親から信頼されている>	あてはまる (計) 79.5% 【88.2%】

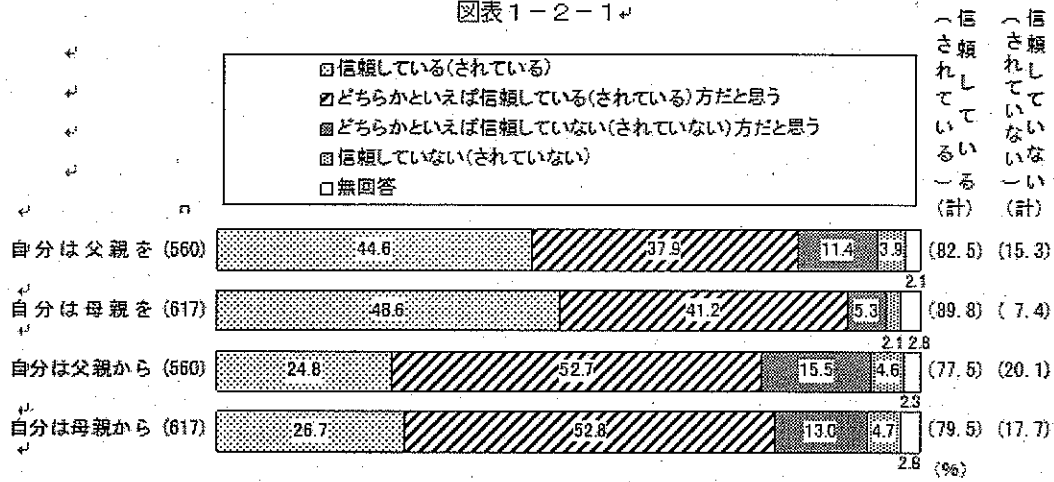
(10歳～14歳)

図表1-2-1*



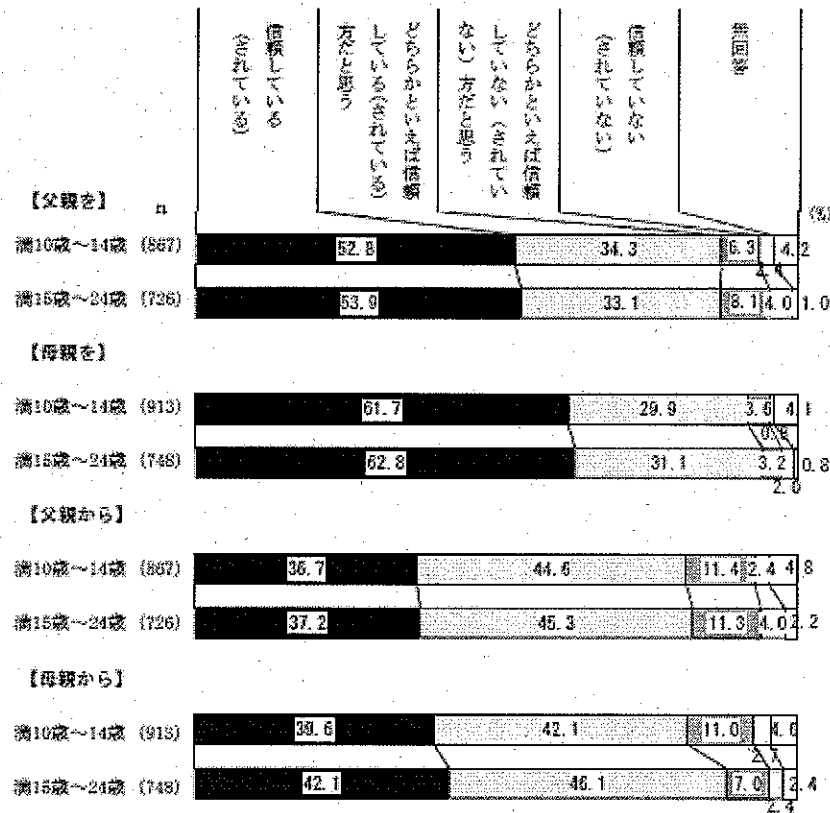
(15歳～30歳)

図表1-2-1



< (参考) 平成18年度調査 >

図表2-9 親との信頼感



【傾向】

自分は「両親を信頼している（計）」「両親から信頼されている（計）」ともに「10歳～14歳」が「15歳～30歳」よりも上回っている。

「自分は母親を信頼している（計）」がそれぞれの年代の差が2.4ポイントであったのに対して、「自分は父親を信頼している（計）」は6.6ポイント開いていた。

全体的に、「親から信頼されている」と感じる割合よりも「親を信頼している」と感じる割合の方が上回っている。

平成18年度と比較すると、「10歳～14歳」では、「両親を信頼している（計）」「両親から信頼されている（計）」ともにポイントが上昇しているのに対して、「15歳～30歳」では、いずれも減少している。

あてはまる（計）・・・「あてはまる」「まああてはまる」の合計

あてはまらない（計）・・・「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の合計

Q5 お小遣いの金額について

【年代別最多割合】

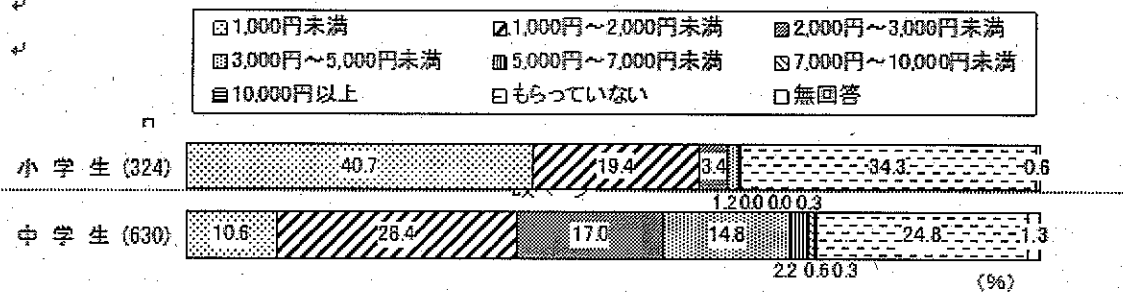
小学生	1,000円未満 (40.7%)
中学生	1,000円～2,000円未満 (28.4%)
15歳～18歳未満	5,000円～7,000円未満 (29.0%)

小学生では「もらっていない」(34.3%)と「1,000円未満」(40.7%)が多く、この2項目を合わせると小学生全体の4分の3を占める。

中学生になると、「もらっていない」は24.8%と減少し、「1,000円～2,000円未満」が28.4%、「2,000円～3,000円未満」が17.0%、「3,000円～5,000円未満」が14.8%など多くなっている。それでも、5,000円以上おこづかいをもらっている中学生はわずかである。(図表1-5-2)

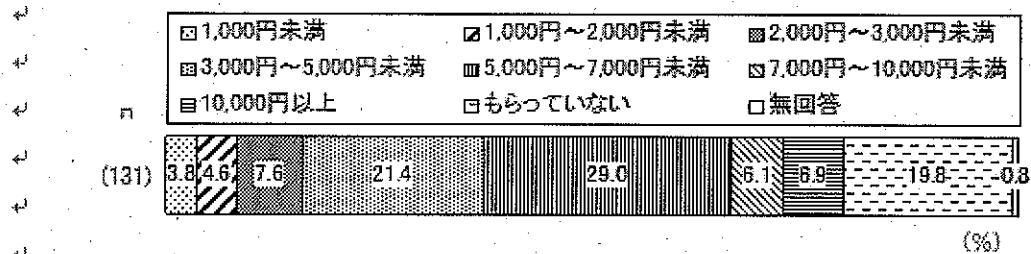
15歳以上18歳未満では、「5,000円～7,000円未満」が29.0%、「3,000円～5,000円未満」が21.4%、「もらっていない」が19.8%となっている。次いで「2,000円～3,000円未満」が7.6%、「10,000円以上」が6.9%などとなっている。(図表1-5-1)

図表1-5-2 □おこづかいの額 (年代別)



(15歳以上～18歳未満)

図表1-5-1



Q6 お小遣いの満足度について

【年代別満足度】

小学生 <非常に満足> 30.2% <満足(計)> 63.8%

中学生 <非常に満足> 27.0% <満足(計)> 65.3%

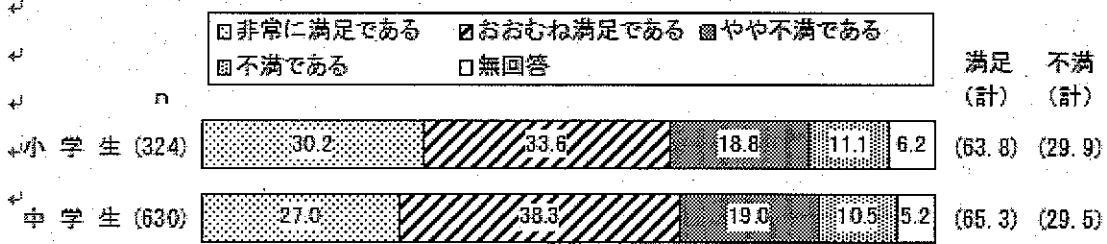
15歳～18歳未満 <非常に満足> 24.4% <満足(計)> 67.1%

【傾向】

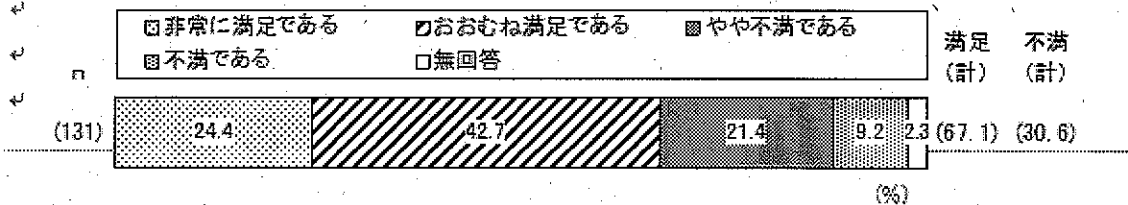
「満足(計)」は、「小学生<中学生<15歳～18歳未満」となっているが、いずれの年代も6割台であり大きな差は見られない。

一方、「非常に満足」と回答する割合は「15歳～18歳未満<中学生<小学生」となっており、年齢が低い程「非常に満足」の割合が増している。

図表1-6-2 □おこづかいの額の満足度(年代別)



図表1-6-1



満足(計)・・・「非常に満足である」「おおむね満足である」の合計
 不満(計)・・・「やや不満である」「不満である」の合計